

人・モノ・地域がつながる 安心・安全な社会づくり

For safe and secure society, connecting people, things and community

FEATURE
-特集-

サイバー攻撃の脅威から 日々の安心・安全を守る

関連する
SDGs



社会課題

近年、企業の機密情報や個人情報をねらうサイバー攻撃の被害が深刻化しています。攻撃件数はこの5年間で約6.3倍に増えており、企業に侵入するコンピュータウイルスの9割以上が未知のウイルスである等、サイバー攻撃は複雑化しています。

企業や自治体が脅威に対抗するためには、これまで以上に高度な情報セキュリティ対策が不可欠です。一方で、企業等ではネットワー

ク機器やサーバー等を自社で保有して運用するオンプレミスとクラウドの複合的な利用が進んでおり、システムが複雑になっていることから、サイバー攻撃発生時の対応スピードが低下しています。また、強固なシステムを構築・運用するコスト負担が大きくなり、さらに日々、進化するサイバー攻撃に対応できるセキュリティ人材の確保・育成が課題となっています。

NTT西日本グループのアプローチ

NTT西日本グループは、これらの課題解決に向けた取り組みを進めています。サイバー攻撃の脅威に備え、強靭な情報通信インフラを構築していくことは、SDGsのゴール9にもつながると考えています。

取り組みの一環として、ネットワーク、クラウド、オンプレミス、セキュリティ、サーバー等の分野ごとに分かれていたオペレーションセンタを統合し、機能を強化したMC-SOC(Managed Cloud Service Operation Center)を開業しました。



MC-SOC 3つの特徴

ワンストップ受付



ネットワーク
クラウド
オンプレミス
セキュリティ

クラウドやオンプレミス等のシステム形態を問わず、故障箇所の切り分けから回復まで対応します。

高度セキュリティオペレーション



運用・サポート
監視

SIEM やアナリストの分析によって膨大な情報から危険度が特に高い情報を抽出し、未知の攻撃にも対応します。さらに緊急対応から復旧までシームレスにサポートし、被害の拡大を最小限に抑えます。

サービスアカウント管理機能



日頃のお客さまのシステムの運用実績や故障解析結果等を踏まえ、継続的なサービス改善を提案していきます。

SIEM (Security Information and Event Management): ソフトウェアやアプリケーションが出力するイベント情報を一元的に保管して管理し、脅威となる事象を把握するテクノロジー

VOICE
担当者の声

誇りと使命感を持って通信の安心・安全を守る NTTネオメイト ITビジネス本部 サービス推進部長 岩崎 勝利

サイバー攻撃は高度化しており、攻撃そのものを100%防ぐことは極めて困難です。そのため、いかに迅速に対応し、被害の拡大を防ぐかが非常に重要です。MC-SOCの開業により、これまで以上に高度な対応ができる体制が整備されました。その運用を支えていくのが人材です。MC-SOCを運営するNTTネオメイトでは、国内でも約1,800人しかいないグローバルな情報セキュリティ資格であるCISSP保有者が25人在籍し、高度なセキュリティオ

ペレーションサービスを提供している他、高度なスキルやノウハウを持った人材が集まっています。さらにその力を高めるための人材育成にも注力しています。

情報セキュリティに関する業務は、生活に欠かさない情報通信インフラを守り、安心・安全な社会の構築に貢献する意義深い仕事だと思っています。これからも誇りと使命感を持って、日々の業務に取り組んでいきたいと考えています。



ICTサービスの品質の安心・安全

基本的な考え方

NTT西日本グループは「通信サービスとは、人と人、人と社会をつなぐためになくてはならないもの」と考えています。社会を支え生活を守る重要なインフラを提供する企業グループとして、災害にも強い情報通信サービスの提供に努め、いつでも、どこでも、だれとでもつながる安心と信頼を提供しています。

高品質で安定した通信サービスの確保

お客さまが常に安心してサービスをお使いいただけるよう、24時間365日、通信サービスを監視するネットワークオペレーションセンタでは、ICTを活用しリアルタイムで通信サービスの状況を一元的に監視・制御するとともに、予期せぬトラブルが発生した際にも迅速かつ的確に回復措置がとれるよう努めています。

サービス品質向上に向けた取り組み

サービス品質の向上に向けて、故障の未然防止や早期サービス回復への取り組みに努めています。故障の未然防止については、通信装置のパフォーマンスを日々チェックし、故障の予兆段階で速やかに対処を行っています。早期サービス回復については、故障原因等を踏まえた手順見直しや、さまざまな事態を想定した故障措置の訓練を繰り返して行っています。また、2006年10月23日～25日に起こったひかり電話大規模故障から学んだ教訓を忘れないために、毎年10月23日から約1カ月間を「サービス品質向上強化月間」としています。この期間では、社員一人ひとりが、お客さまに未永くサービスをお使いいただくための具体的な行動として何が出来るかを考え、実践することにより、さらなる品質向上に取り組んでいます。

NTT西日本グループの 情報通信インフラ



大小さまざまな島々で形成される日本列島には、人の住む離島が421島あり、そのうちの8割強が西日本エリアにあります。NTT西日本グループでは、これらの島と島、島と本土の間の通信サービスを提供するため、約5,430kmにも及ぶ海底ケーブルを敷設し、日常の点検から故障修理に至る保守業務までを一貫して行っています。



セキュリティ人材の育成



NTTグループは、グループ内のセキュリティ人材育成強化として、2014年11月に、2020年度までに国内のセキュリティ人材を約2,500人から約1万人へ強化することを目標に掲げ、セキュリティ人材を開発・運用・コンサルの3つの人材タイプと、3段階の人材レベルに大別し、役割イメージに応じた人材育成施策をグループ各社で推進しています。NTT西日本グループにおいても、安心・安全な通信サービスを提供するためセキュリティ知識だけでなく実践力を高めるハンズオン研修やOJT、社外のセキュリティ関連団体との人材交流を進め、セキュリティ人材育成の強化に努めています。

NTT西日本グループの情報セキュリティ人材数の推移(累計)

	2015年度	2016年度
SA・ALレベル資格認定者数(人)	197	394

